

F Mくしろ「市役所からこんにちは」資料（令和8年8月放送分）
放送日 令和8年8月31日（月曜日）午前10時5分～10時20分

（話題1）「粗大ごみ電子申請」の運用開始について

【エフエムくしろ パーソナリティー】

今日は、鶴間市長にお越しいただいてお話しいただきます。

市長、本日はどのようなお話でしょうか？

【市長】

「粗大ごみ電子申請」の運用開始についてお話しします。これまで粗大ごみは、開庁時間内に電話での申込みとなっておりましたが、市民の皆さまの利便性向上、および業務の効率化を図るため、8月12日より、電話申込みと併用して、新たにインターネットからの電子申請を開始いたしました。電子申請の開始により、スマートフォンやパソコンから、24時間いつでも申込みが可能となり、市のホームページから、専用の受付フォームにアクセスし、画面の指示に従って必要情報を入力していただきます。なお、申請については、専用画面に表示される「申請リスト」に掲載されている品物が対象となりますので、リストに掲載されていない品物を排出する場合は、これまでどおり、お電話でのお申し込みとなります。また、対象は阿寒・音別地域を除く釧路市内にお住まいの方となりますことから、阿寒・音別地域にお住まいの方につきましては、従前どおりのお申し込み方法となります。市ホームページ、市公式LINEや担当課インスタグラムでも周知しておりますので、そちらもあわせてご確認ください。運用開始後は、市民の皆さまの声や申請状況などを検証し、運用の改善を図り、さらなる市民サービスの向上に努めてまいります。

（話題2）「釧路市立博物館創立90周年記念企画展」について

【エフエムくしろ パーソナリティー】

続きまして、皆さんにお知らせしたいことはございますか？

【市長】

釧路市立博物館創立90周年記念企画展「博物館ができた頃～90年前のくしろ～」についてお話しします。北海道東部でもっとも古い歴史を持つ、釧路市立博物館は1936年、昭和11年の7月14日に開館しました。当時の釧路は石炭・製紙・水産業を中心とする産業都市として、飛躍的な発展を遂げました。阿寒が国立公園に指定され、タンチョウが天然記念物となったのもこの頃です。こうしたマチの発展とともに、釧路の自然や文化を大切にしようとする動きが生まれ、後の釧路市立博物館初代館長となる片岡新助（かたおか・しんすけ）をはじめとした、郷土の研究者たちは、自らの仕事に励むかたわら、釧路の自然や歴史を調べ、その魅力と大切さを広く伝え続けました。釧路という郷土に熱意を注いだ先人たちの強い思いが、博物館の誕生につながりました。開催中の企画展では、博物館創立当時に収蔵された資料をはじめ、自然・歴史・産業など、幅広い分野の資料が展示されています。ぜひ博物館へ足を運び、90年前の釧路の姿をその目で確かめてみてください。

【エフエムくしろ パーソナリティー】

博物館創立90周年記念企画展「博物館ができた頃～90年前のくしろ～」は、10月12日まで開催しています。9月6日（日曜日）には、ミュージアムグッズ愛好家の大澤夏美さんを迎えて、記念講演会「ミュージアムグッズから広がる博物館の楽しみ方」を午後1時30分から開催します。参加無料、申込不要です。

（話題3）今後のイベントについて

【エフエムくしろ パーソナリティー】

市長、イベントのお知らせがあると聞いておりますが。

【市長】

釧路の秋の一大イベント「釧路大漁どんぱく」が、9月12日（土曜日）、13日（日曜日）の2日間、開催されます。釧路大漁どんぱくは、今年で23回目を迎え、「幸町緑地」などを会場に行われます。会場では、様々な屋台グルメが楽しめるほか、姉妹都市や友好都市等の魅力あふれる特産品を集めた「交流物産展」、根釧牛乳の試飲や搾乳の疑似体験などができる「農業農村フェア in KUSHIRO」が開催されます。また、メインイベント『釧路大漁どんぱく花火大会』は、9月12日（土曜日）午後7時から50分間を予定しております。午後7時30分頃には、北海道最大で唯一の三尺玉が打ち上げられ、夜空を華やかに彩ります。9月13日（日曜日）には、釧路モーターフェスティバルが初開催となり、子供たちがみんなで力を合わせて大型トラックと綱引きをするイベントをはじめ、いろいろな種類の自動車、ヘリコプターの展示など、車にまつわる様々な催しを行います。また、メインステージではアンパンマンショーも実施いたします。秋の釧路の一大イベントであります「釧路大漁どんぱく」にぜひお越し頂きたいと思います。